

平成23年度 相模台地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	防災マップ作製事業	【 No. 1 】
申請団体	相模台地区自治会連合会	
事業目的等	<p>地域活性化事業交付金を活用し、自治会ごとに避難所を図示した防災マップを作製し、地域住民へ配布する。</p> <p>これにより、自治会員へは防災意識を高めることと、未加入者には自治会加入のPRとすることを目的に作製する。</p>	
交付決定日	平成23年 6月27日	
交付決定金額	386,000 円 (全体事業費 386,000 円)	
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災マップ印刷 20,000 部 ・ 仕様 A3 両面 カラー印刷 <ul style="list-style-type: none"> 表面 自治会ごとに一時避難所・指定避難所・広域避難所と区域を色分けした地図を作製。 裏面 避難所自己記入欄、避難所一覧、防災対策チェックリストなど。 ・ 相模台地区単位自治会(27自治会)を通じて自治会員に全戸配布を行った。 ・ 地域包括支援センターが、把握する高齢者のうち自治会未加入者へ配布。 <p>◇自己評価</p> <p>当地区は防災、防犯に意識が高い地域であるが、防災の情報(一時避難場所など)については、10年前に周知して以来、自治会連合会では周知していなかった。</p> <p>このことから、自治会内(自治会長や役員も含め)においても再認識することができ、効果は高かった。</p> <p>また、自治会員に配布したことにより、防災意識を高める啓発活動もできたと考えている。自治会未加入世帯についても防災意識を高めることにより、自治会加入促進の一部になると考えている。</p>	
市評価	<p>相模台地区の各自治会は、日頃から防災に対する意識は高いが、高齢化率が23.1%の状況から、大規模震災時には避難所等の位置を知らず、孤立する住民が多いと考えられ、地域課題とされていた。</p> <p>このことから、住民への避難所等の周知を課題の一つと考え、事業実施に至っていることは、課題解決に正面から取り組む姿勢が見受けられる。</p> <p>作製にあたり自治会連合会内で、自治会長3名、防災専門員2名で編集委員を組織し、編集会議を開催し広く意見を取り入れることにより、活用性の高い防災マップが作製されている。</p> <p>また、配布対象を自治会未加入世帯にも広げることで、自治会をPRし加入者の増加を図っている点も高く評価できる。</p>	
備考		

申請事業名	相模台芸術フェスタ事業	【 No. 2 】
申請団体	相模台芸術フェスタ実行委員会	
事業目的等	<p>相模台夏祭りが中止となり、地域の人が集い、交流を深める催しが無い状況であることから、まちづくり会議会長の呼びかけにより、まちづくり会議役員会を(仮称)相模台文化祭検討会とし、実行委員の選考を行った。</p> <p>検討会からの呼びかけにより、実行委員会が組織され、老若男女一日だけの集い、日頃励んでいる技を披露してもらえることで、地域が祭りの一日になり、人と人との輪が広がる手作りの事業を開催することとした。</p>	
交付決定日	平成23年 9月 2日	
交付決定金額	605,000 円	(全体事業費 605,011 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <p>1 開催日時:平成23年11月23日(水)午前9時から午後4時</p> <p>2 会場:相模台中学校体育館</p> <p>3 当日までの経過:7月29日に実行委員会を立ち上げ、協力者説明会、参加者説明会を開催した。また、参加者募集、当日の観覧案内を自治会回覧にて地域住民に周知した。</p> <p>4 事業結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演舞参加者 300名(29団体) ・来場者数 935名 ・実行委員、協力者 60名 ・その他協力団体 北里大学・女子美術大学関係者、相模台中学校関係者他 <p>◇自己評価</p> <p>影で努力している人に注目し、短時間の限られた中で、回覧やチラシを配布し広く参加を呼びかけた。参加することで意欲が出て元気になったという声も届いた。目を見張る効果はすぐに見られないが、相模台地域の中で誰もが、この事業の実現を望んでいたことが理解できた。</p> <p>進行が早く、応援に見えた方が、目当ての出演者を見落としそうになるなど、迷惑もかけたが、そのことは、出演者が、時間より早く集まり、円滑に進んだ結果であり、催しを心待ちにしていたことと思われる。</p>	
市 評 価	<p>反省点もあると思われるが、1回目としては、十分に参加者、来場者も集まり、盛大に開催され、成功に終わった事業と考えられる。</p> <p>イベントの開催に主眼を置くだけでなく、地域作業所、自治会連合会の協力など、地域の横の繋がりを重視したところは高く評価できる。</p> <p>参加者説明会を実施することにより、事業も円滑に進んだと思われ、事業終了後も反省会の実施、記録写真誌の発行など実行力の強さを感じる。</p> <p>今後は、参加者側からも実行委員、協力者を募るなど、担い手育成等へ発展することを期待する。</p>	
備 考		

申請事業名	防犯啓発事業	【 No. 3 】
申請団体	相模台地区自治会連合会	
事業目的等	<p>地域内の犯罪減少の取り組みとして、「防犯パトロール」と記した自転車の前カゴに付ける反射シートと自動車用マグネットシートの標示板を作製。反射シートは、各自治会に配布し、地域全体で防犯に取り組む意識を高めるとともに、自転車での外出やパトロールにより犯罪減少に役立てる。また、自動車用マグネットシートは、各自治会等で防犯啓発活動の際に貸し出し、地域住民で、防犯啓発活動に取り組む。</p>	
交付決定日	平成23年10月12日	
交付決定金額	308,000 円	(全体事業費 308,155 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯蛍光反射マグネットシートL 30枚 仕様 大きさ たて300mm×よこ500mm 素材 ゴムマグネット <p>車にマグネットで貼り付けられるもので、地区全体や自治会単位で防犯啓発事業を行う際に使用する。(事務局が保管し貸し出す。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車用反射シート 500枚 仕様 大きさ たて200mm×よこ300mm 素材 ビニール材 <p>相模台地区単位自治会(27自治会)を通じて担当役員に配布し、自転車カゴに装着し、日ごろから防犯啓発活動を実施する。</p> <p>◇自己評価</p> <p>相模台地区は自転車の利用者が多く、「防犯パトロール」という標示板を装着してくれる協力者も多くいた。作製した自転車用反射シートは目立つため、装着することにより歩行者も目が行き、より防犯に対する意識が高まるようになったと思われる。</p> <p>また、防犯蛍光反射マグネットシートも車に貼り付け走行すれば、目立つため使用時には防犯の効果は期待できると思われる。</p>	
市 評 価	<p>相模台地区自治会連合会と相模台地区防犯協会では、役員等が自転車の前カゴに「防犯パトロール」と記した表示板を付けて地区内を折にふれパトロールし、犯罪の防止に寄与していたが、いままで使用していた手作りのラミネート製の表示板が老朽化したため、新たに質が高く長期間使用できるものを作製して、パトロールに取り組みたいとの意見により、本事業の実施に至った。</p> <p>地域団体の会議において、地域課題についての意見提案から事業の実施に至ったことは、団体として地域への愛着が高い現れと思われる。</p> <p>その地域への愛着意識から、相模台地区自治会連合会と相模台地区防犯協会の二つの団体が協同でこの事業に取り組んだことは、防犯啓発活動を推進することはもとより、地域の結束力が発揮されたものと、高く評価できる。</p>	
備 考		